

経営説明会

2022年3月18日

KYB株式会社 (証券コード 7242)

はじめに KYBを取り巻く環境



外部環境

- ✓ 環境意識・技術の急速な変化
 - サステナビリティ、カーボンニュートラル に対するグローバルでの意識の変化
 - 電動化、自動化、DX等の技術シフト 〜自動車業界は100年に一度の変革期〜



<u>内部環境</u>

- **✓ ガバナンス体制強化に加えて、高収益体質への変革**
 - 免制振ダンパー問題の適合化に終息の目途
 - 類似事象についての第三者委員会の調査完了
 - 不採算事業、不採算拠点の統廃合



KVB.



2022年4月、「KYB株式会社」は 通称社名を「カヤバ株式会社」といたします。

私たちは創業から息づくものづくりの原点に立ち返り、 未来に向かって動き始めます。

培ってきた技術をさらに磨き上げ、お客様の期待に応えること。 そして持続可能なこれからの社会に貢献するために、 新しい可能性に向かって踏み出すこと。

私たちは DNAである独創の精神で 社会に新しい価値を届けていきます。





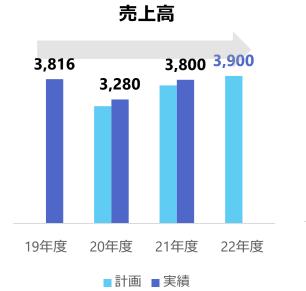
2020中期経営計画の振り返り

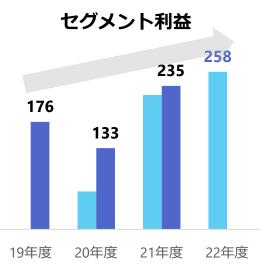
2020中期経営計画の振り返り 経営目標



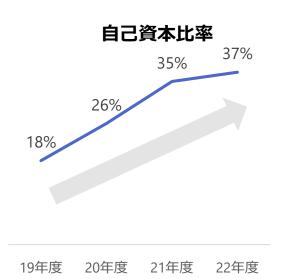
(単位:億円)	2019年度	2020年度		2021年度		2022年度
	実績	計画	実績	計画	業績予想	目標
売上高	3,816	3,100	3,280	3,650	3,800	3,900
セグメント利益	176	62	133	220	235	258
セグメント利益率	4.6%	2.0%	4.1%	6.0%	6.2%	6.6%
自己資本比率	18%	-	26%	-	35%	37%

2022/3/18時点





■計画 ■実績



2020中期経営計画の振り返り 収益改善活動 (セグメント利益)



21年度 目標 +44億円 → 見通し+59億円 (19年度比)

21年度見通し 22年度目標

● 生産性向上(製造コストの低減)進捗率: 47% +16億円 +34億円

● 不採算分野の撤退・縮小進捗率: 135% +23億円+17億円

● 変動費削減 <u>進捗率:80%</u> +8億円 +10億円

● 生産拠点集約·最適生産体制構築 <u>進捗率:71%</u> +5億円 +7億円

● 販売拡張活動の推進 <u>進捗率:116%</u> +7億円 +6億円

22年度 目標 十74億円(19年度比)

2020中期経営計画の振り返り 全社課題



全社課題(2020中期経営計画振り返り)







コンプライアンス遵守 ガバナンス強化

- ・コンプライアンス委員会設置
- ·再発防止策 67/67件完了 (3月末完了見込)



成長戦略

·新市場(EV·電動化)

課題:商品ラインナップ

・固定費圧縮

課題:労働力不足への対応



ESG経営への進化

・サステナビリティ委員会/ESG推進室の設置





事業戦略

選択と集中



事業戦略

◆柱となる3つの事業

AC









AC、HC、特装の3事業へ集中 → 経営資源を最適配分

選択と集中



2022年度の注力項目

<u>2020</u>

2021

<u>2022</u>

持続的成長のための 商品開発

- ·EV·自動化対応 (自動車·鉄道)
- ・電子制御・システム(建設機械)
- ・プレミアム市販商品(自動車)
- ・新市場向け商品 (農機・建機)

収益力強化

- ·次世代革新工場(無人化工場)
- ・コスト低減(現調化・仕様統合)

リソースの最適配置

・AC/HC/特装事業への経営資源の投入

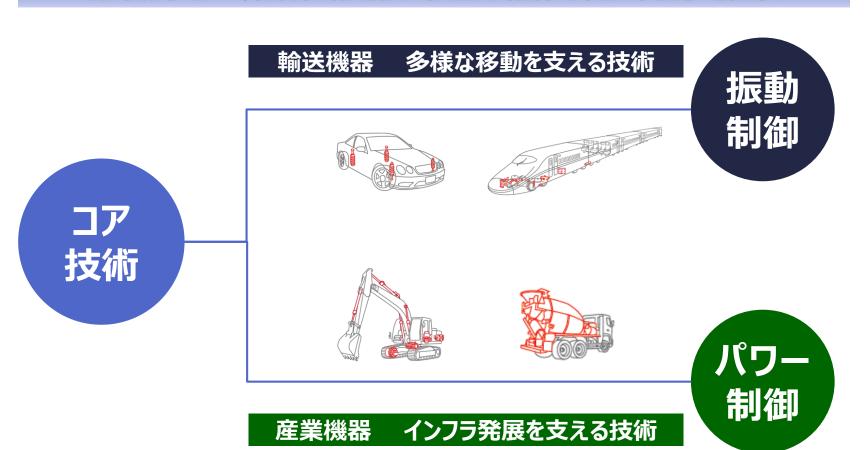


新商品

カヤバのコア技術



創業から息づく制御技術を核に独創の精神で新たな価値を提供



人々の暮らしを安全・快適にする技術や製品を提供し、社会に貢献します

振動制御: EV·自動化対応



モビリティ変革で求められる高い安全性と快適性

アクティブ サスペンションシステム フル/セミアクティブサスペンションシステム 安全性能の追求・究極のフラットライド



電子制御

Sens Think Act









次世代車高調整+サスペンションシステム空力性能向上(電力・燃料消費低減) 昇降性向上

車高調整サス

コア技術と電子制御システムを高度に融合、自動運転・EV時代の安全・快適性能を追求

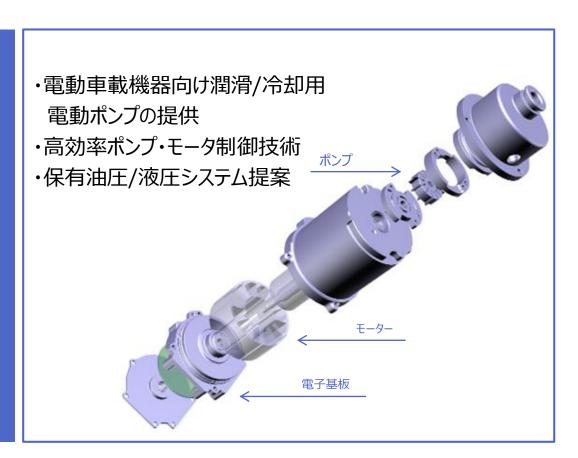
振動制御: EV·自動化対応



電力・燃料消費の低減



電動ポンプ

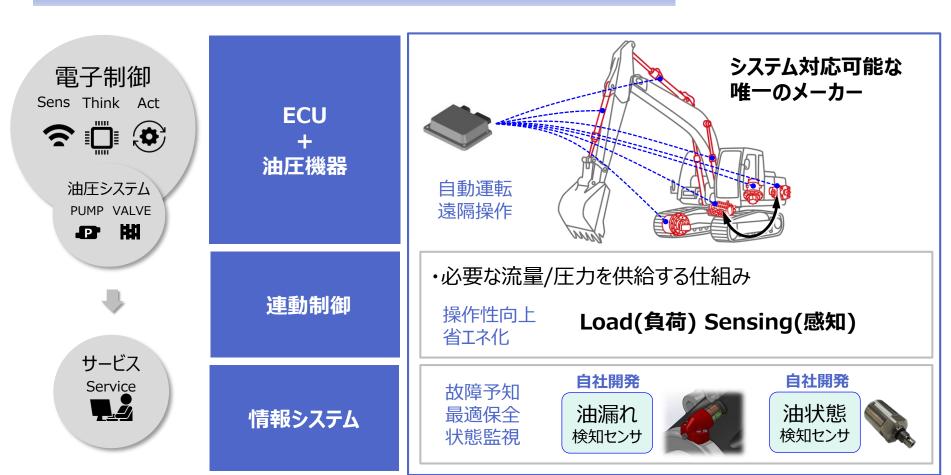


コア技術と電子制御・電動化技術を高度に融合、EV・モビリティの電力・燃料消費低減に貢献

パワー制御:産業機械 電子制御・油圧システム



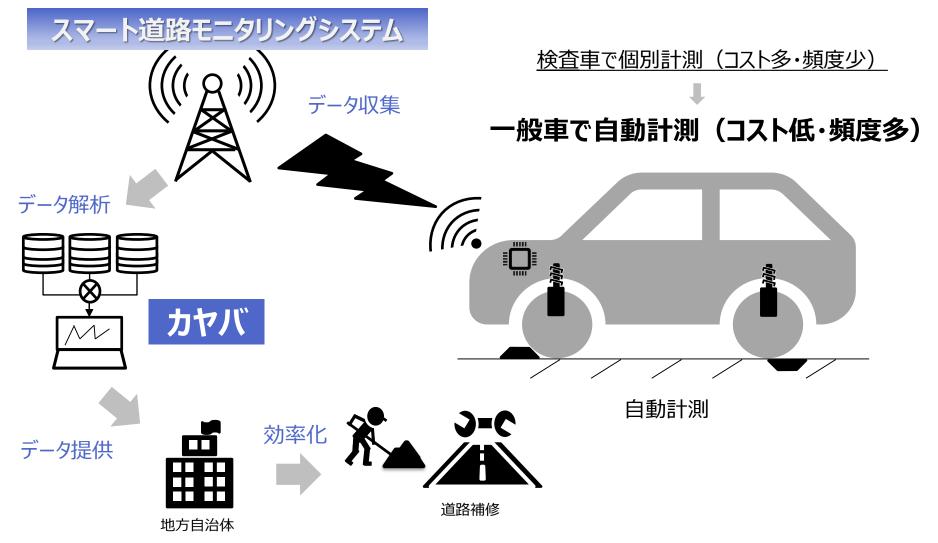
建機の遠隔操作・自動運転・高効率化



産業機械の高度化・電動化に合わせ電子制御・システム化を加速、省エネ・自動運転へ貢献

振動制御:DX活用による新たなサービス





地方自治体の交通インフラ(工数・コスト)の負担を軽減



生産革新

カヤバの生産変遷と今後の取組み



1960

戦後復興

1980

2000

2020

Society3.0

Industry3.0 Society4.0 Industry4.0 Society5.0 SDGs



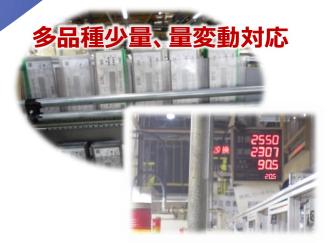
震災 経済危機

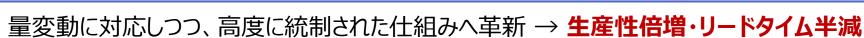
コロナ禍 半導体不足



高度成長期

経済危機





次世代 革新工場(コンセプト)



Ship'30 活動

Self handling innovation plant 2030 自己完結革新工場を2030年に具現化する

原点回帰



デジタル技術を軸にしたKYB生産方式の追究と進化

活動の2本柱

生産工程革新:加工〜組立完全同期の一貫生産コンパクトライン構築

設備管理革新:高度化する設備群に対応できる次世代TPM体制構築

XTPM: Total Productive Maintenance

次世代 革新工場(目指す姿)

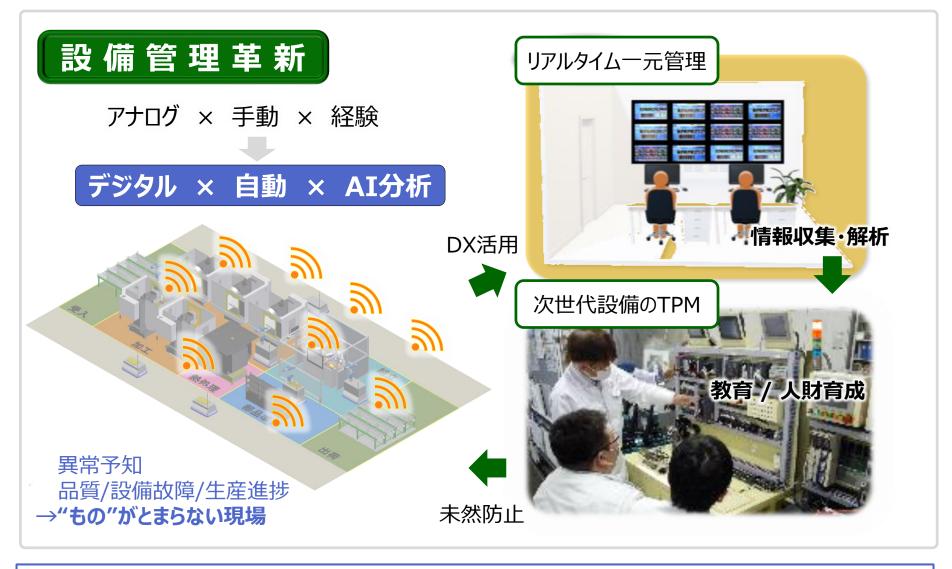




生産工程を検査AI・ロボットなどでオートメーション化し、無人化

次世代 革新工場(目指す姿)





各種設備データをリアルタイムで分析し異常の発生を予知し未然防止



ESG経営

カーボンニュートラル

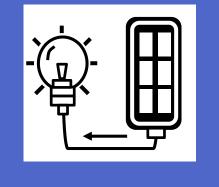


地球温暖化防止 = CO2削減

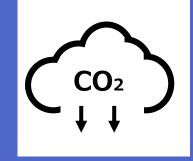
エネルギーを作る (再生可能)



エネルギーを使う (省エネ)



CO₂の削減に 貢献する製品





- ·2030年 CO₂削減 2018年比 ▲50%
- ・2050年 カーボンニュートラル

カーボンニュートラル エネルギーを作る



再生可能エネルギーの活用

・マザー工場(岐阜工場)での導入

①太陽光発電

稼働開始:2022年1月

発電量:400~500kwh/日

②カーボンニュートラルな都市ガス

稼動開始:2022年2月



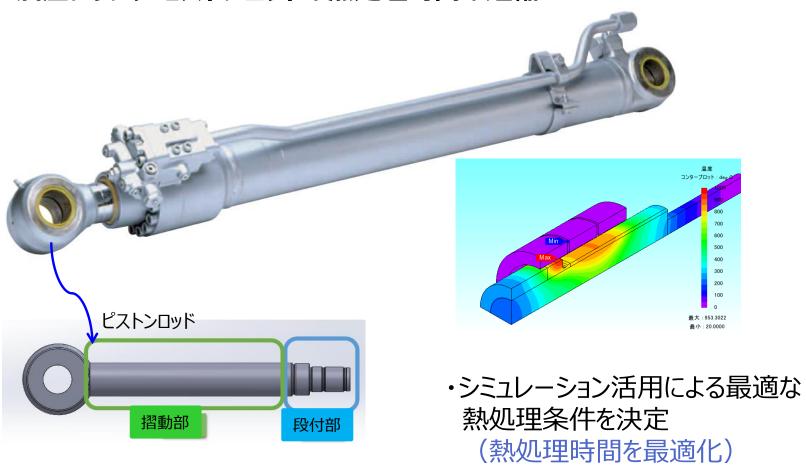


カーボンニュートラル **エネルギーを使う**



省エネ・電気使用量の削減

油圧シリンダ ピストンロッドの熱処理時間の短縮



カーボンニュートラル CO2削減への貢献



緑のリサイクル

剪定枝の粉砕処理車



粉砕された木材チップ



街路樹の剪定



作業効率・輸送効率が大幅向上



バイオマス発電、土壌改良材、マルチング材 などに有効活用(木材チップの利活用)

ガバナンス強化・ダイバーシティ



多様な人財が活躍できる場の創出





・女性役員登用





・社外取締役社外監査役の増員予定:2022年度 2名増員

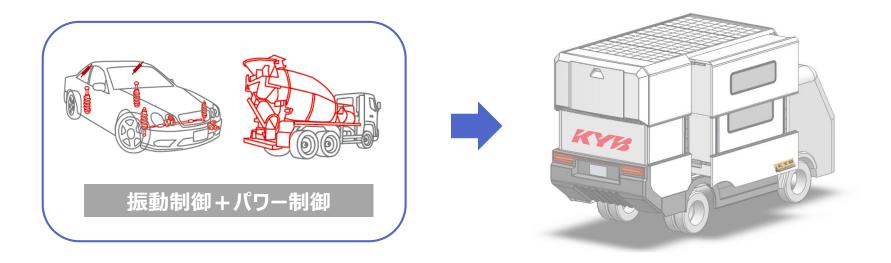


新たな取り組み

キャンピングカー



新しいキャンピングカーライフ価値提供



- ①技術を結集した安全性の追求
- ②災害時の居住空間の提供



監修: 片山右京氏

目標:東京オートサロン2023年 キャンピングカーショーへの出展

全日本ラリー選手権



社員運営による ラリーチーム発足・全日本ラリー選手権参戦



- ①車両目線開発のできる技術者育成
- ②社員モチベーション向上
- ③新商品開発

目標:2023年 単独チーム参戦



2030年に向けて

2030年 目指す姿







Our Precision, Your Advantage

ご注意事項

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おき下さい。

お問い合わせ先/取材のお申し込み先 IR室 Tel: 03-3435-3580 E-mail: kyb-ir@kyb.co.jp